

前回定例会以降の動き

平成31年4月10日
新潟県防災局原子力安全対策課

1 安全協定に基づく状況確認

- 3月12日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・ 3号機原子炉建屋オペレーティングフロア（管理区域）における水漏れについて、説明を受け、現地を確認しました。

2 新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議（第70回）

3月25日、新潟県と東京電力HD（株）が平成31年度に実施する柏崎刈羽原子力発電所周辺地域の放射線及び温排水の影響を把握するための調査計画について、専門家等で構成する新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議において内容を確認していただき、了承されました。

※会議資料は下記ホームページアドレスに掲載

<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356915255744.html>

3 新潟県原子力災害広域避難計画の策定

3月29日、新潟県原子力災害広域避難計画を策定しました。詳細は、別添報道資料をご参照ください。

4 新潟県原子力発電所による健康と生活への影響に関する検証委員会

3月15日、第4回健康分科会を開催し、甲状腺がんについて8つの論点を整理し、議論を開始しました。また、その他の健康課題について、論文を整理分類し、英語論文のうち重要と考えられる論文の概要を確認しました。

※会議資料は下記ホームページアドレスに掲載

<http://www.pref.niigata.lg.jp/kenko/1356877960355.html>

5 その他

3月18日：報道発表 [原子力発電所から概ね5km圏内の住民を対象とした、安定ヨウ素剤事前配布説明会の実施状況をお知らせします。]

3月19日：報道発表 [東京電力が県に伝送している放射線監視データと実際の測定データを照合し、一致していることを確認しました。]

4月2日：報道発表 [新潟県原子力災害広域避難計画の策定について]

平成 31 年 3 月 18 日
福祉保健部医務薬事課

**原子力発電所から概ね 5 km 圏内の住民を対象とした、
安定ヨウ素剤事前配布説明会の実施状況をお知らせします。**

3 月 10 日、15 日、16 日に実施した、PAZ 内（原子力発電所から概ね 5 km 圏内）の住民を対象とした安定ヨウ素剤の事前配布説明会について、以下のとおり実施状況をお知らせします。

1 事前配布説明会の実施状況

	対象者数 a	配布者数 b	うち今回 配布者数	配布率 b/a
柏崎市	15,429	10,181	1,182	66.0%
うちゼリー状剤	250	132	55	52.8%
刈羽村	4,619	3,520	167	76.2%
うちゼリー状剤	106	69	18	65.1%
全 体	20,048	13,701	1,349	68.3%
うちゼリー状剤	356	201	73	56.5%

※対象者数(a)は、平成 31 年 1 月 31 日時点の PAZ 内人口

※配布者数(b)は、平成 30 年 6～8 月の説明会における配布者数（この間の死亡・転出者等は除く）に、今回の説明会における配布者数を加えた数

※前回説明会における配布率は、柏崎市 60.0%、刈羽村 74.7%、全体 63.4%

2 今後の対応

今後も PAZ 内に新たに転居、転入や出生の届け出をされた方、説明会に来場されなかった方等を対象に、定期的に配布説明会を開催します。

本件についてのお問い合わせ先
医務薬事課 山崎、佐山
(直通) 025-280-5183 (内線) 2543, 2559

平成 31 年 3 月 19 日
原子力安全対策課

東京電力が県に伝送している放射線監視データと実際の測定データを照合し、一致していることを確認しました。

県では、東京電力から伝送され、県が公表している放射線監視データと現地記録計に保存されているデータの照合、確認を定期的に行っています。

今回、現地調査した結果、以下のとおり、双方のデータが一致していることを確認しましたので、お知らせします。

1 現地調査実施日

平成 31 年 3 月 13 日（水）

2 調査対象

(1) モニタリングポスト MP-9

3 調査方法

県放射線テレメータシステムへ伝送された以下の期間のデータについて、現地記録計に保存されているデータと比較しました。

平成 31 年 3 月 6 日（水） 2 時 10 分から 3 時 00 分までの 10 分間ごとの値

4 結果

基準の範囲内で一致していました。
調査結果の詳細は別紙のとおりです。

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課放射能対策室長 山田
(直通) 025-282-1693 (内線) 6460

柏崎刈羽原子力発電所放射線監視データ現地確認調査

原子力安全対策課

1 モニタリングポスト

MP-9

調査対象日：平成31年3月6日

No.	測定時分	A 県伝送データ	B 現地記録計	差 (A-B)	評価
1	2時10分	31 nGy/h	30.7 nGy/h	0.3 nGy/h	判定基準内で一致 判定基準±1nGy/h
2	2時20分	31 nGy/h	31.1 nGy/h	-0.1 nGy/h	
3	2時30分	31 nGy/h	30.6 nGy/h	0.4 nGy/h	
4	2時40分	30 nGy/h	30.5 nGy/h	-0.5 nGy/h	
5	2時50分	31 nGy/h	30.6 nGy/h	0.4 nGy/h	
6	3時00分	31 nGy/h	30.7 nGy/h	0.3 nGy/h	

(注) 現地記録計はデータの記録方法の違いやデータ収集時間の微妙なずれ等により、県への伝送データと一致しないことがあります。

【測定の単位について】

- Gy (グレイ) とは、物質 (空気) に吸収された放射線のエネルギー量 (吸収線量) を表します。
- 1 nGy (ナノグレイ) は 10 億分の 1 Gy (グレイ) を表します。
- nGy/h は 1 時間あたりの吸収線量を表します。
- cps とは 1 秒あたりの放射線の計数値 (個数) を表します。
- cpm とは 1 分あたりの放射線の計数値 (個数) を表します。

新潟県原子力災害広域避難計画の策定について

本避難計画は、地域防災計画（原子力災害対策編）に基づき策定するものです。
平成 31 年 1 月 24 日に公表した新潟県原子力災害広域避難計画（案）について、市町村等関係機関からの意見等を踏まえて修正を加え、平成 31 年 3 月 29 日に策定しました。

本避難計画は、現時点における広域避難に関する考え方及び具体的な対応等をまとめたものであり、今後も随時更新を行っていく予定です。

1 新潟県原子力災害広域避難計画本編（案）からの変更点

（1）避難時の利用道路の追記

上越市内（UPZ 内）から上越市内（UPZ 外）への避難の際に利用する道路として国道 253 号を追記

（2）「外国人、一時滞在者（観光客等）への対応」に、原子力災害対策重点区域外からの就労者、就学者を追加

外国人、一時滞在者に加え、就労者、就学者を対象として例示

（3）スクリーニングにおいて、原則、人に対して行うことを明記

「スクリーニング・簡易除染マニュアル」の記述と統一

（4）その他、文言の修正

2 個別マニュアル等の変更点

（1）医療機関・社会福祉施設等における「原子力災害避難計画」策定の手引き 保育所等の避難計画策定例の追加、文言の修正

（2）原子力災害に係る学校の危機管理マニュアル作成の手引き 対象施設の明記、文言の修正

（3）スクリーニング・簡易除染マニュアル 原則、スクリーニングを人に対して行うことを明記、文言の修正

（4）原子力災害医療マニュアル（文言修正のみ）

（5）原子力災害初動対応マニュアル（文言修正のみ）

（6）原子力災害広域避難受入調整マニュアル（文言修正のみ）

※県立病院の避難計画、安定ヨウ素剤配布計画、緊急時モニタリング計画は修正なし

個別マニュアル等については、新潟県ホームページで御覧ください。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356910207136.html>

本件についての問合せ先

- ・ 原子力災害広域避難計画（本編）
- ・ 緊急時モニタリング計画
- ・ 原子力災害初動対応マニュアル
- ・ 原子力災害広域避難受入調整マニュアル

防災局原子力安全対策課 原
(直通) 025-282-1695 (内線 6452)

- ・ 原子力災害医療マニュアル
- ・ 安定ヨウ素剤配布計画
- ・ スクリーニング・簡易除染マニュアル

福祉保健部医務薬事課 阿部
(直通) 025-280-5183 (内線 2543)

- ・ 県立病院の避難計画（柿崎病院、精神医療センター）

病院局総務課 木村
(直通) 025-280-5552 (内線 3661)

- ・ 医療機関及び社会福祉施設等における「原子力災害避難計画」策定の手引き

福祉保健部福祉保健課 土田
(直通) 025-280-5176 (内線 2625)

- ・ 原子力災害に係る学校の危機管理マニュアル作成の手引き

教育庁保健体育課 灰野
(直通) 025-280-5621 (内線 3930)